

【歴代会長祝辞】

JORT 秘話と会長のバトンタッチ

第3代会長
角田 明

全国歯放技連絡協議会創立 30 年、誠におめでとう御座います。今年 6 月 30 日の大会参加は 8 年振りでしたが、皆様方のご熱心な活動に感銘致しました。また、懐かしい昔の仲間や教員の方々と久々振りにお会できましたし、当日の配布資料に年次毎の集合カラー写真もあり、どれを見ても最近の出来事のように思え不思議な気持ちでした。

ご承知のようにこの会は 1990 年 7 月に第 1 回総会・研修会が東京医科歯科大学で開催されました。当時は今のようなネット社会ではなく、通信は固定電話か手紙が主流でした。当初少ない予算の中で、会の情報共有化のため第 1 号会誌は大坊、丸橋氏など関東系の役員が中心となり手作りで発行されたと記憶しています。会員同志の迅速な情報通信が可能になるのは、1995 年末頃から各自のパソコンがネットへ繋げる時代になってからです。1996 年初頭に

『Date: Fri, 26 Jan 1996 16:20:34 +0900 To: asumida@radiol.dent.osaka-u.ac.jp From: hideki@net2.nagasaki-u.ac.jp (Hideki KITAMORI) Subject: ご挨拶 長崎の北森です。このたびは、メール開局おめでとうございます。連絡協議会の中でメールアドレスがわかっているのは、角田さんを含め、下記の 5 名です。みんなそれぞれ自分の机に開局しています。メールの仲間がもっと増えるとよいので、もし他のかたのアドレスがわかったら教えて下さい。九大：加藤技師長 (××××) 長大：北森 (××××) 山田 (××××) 田川 (××××)』とのメールを頂きました。それから各々でアドレス取得者を積極的に探索し、確認できると仕事に関する通信を頻繁に行ないました。最初の「北森→角田」メールから約 10 ヶ月後の 1996.11.14 時点で 22 名 (13 施設) のメンバーが集まり、念願のメーリングリストがスタートできました。当初のメールサーバは、阪大歯放所有 (jort@radiol.dent.osaka-u.ac.jp) のものを利用し、諸事情で 2000.6.9 から阪大歯学部所有メールサーバ (jort@mail.dent.osaka-u.ac.jp)、さらに 2001.5.12 から UMIN メールサーバ (jort@umin.ac.jp) へ移行させて頂きました。最近の jort@umin.ac.jp の通信回数を確認すると、この 17 年間で約 1000 通ですので、JORT 開設以降からでは 1600 通以上にはなるかと思えます。

さて、この会が 13 回目を向かえる頃、西岡初代会長 (日大) は 3 期 7 年、田中 2 代目会長 (鶴見大) は 3 期 6 年勤められ其々のご実績で会運営も安定し、会事務局を東京地区から他地区へ移そうと云うムードになり、2002 年に角田 (阪大) が選出され 3 代目の会長をお引き受けする事になりました。しかし当時は国立大学病院の統廃合問題が進行中で、国立 11 大学中 9 歯病が医学部附属病院と統合しました。この事で国立系歯病メンバーの脱会が予想され懸念していましたが、幸い当時の皆様方のご理解とご協力で何とか存続し、2 期 4 年を何とか無事に勤めさせて頂き、片木 4 代目会長 (朝日大) へとバトンタッチできた時は、内心ホットしました。このように紆余曲折はありましたが、それ以降、片木、丸橋、北森氏の 4~6 代目会長及び会員の皆様方のご努力で、年々活動内容は高度かつ広範囲に進めてこられました。

本年度から個性豊かな笹垣新会長に受け継がれ、会員の皆様方と共に一丸となり益々のご発展と継続することを祈念し、お祝いのご挨拶と致します。 継続は力なり！